



あっという間にまとめの時期です

期末テストも終わり、あっという間に1学期もまとめの時期に入りました。いよいよ中学校初の通知表が待っています。さて、2回の定期テストはどうでしたか？

みなさんが提出したワークを点検していると、答え合わせをせずに提出している人や、答えが間違っているのに平気で丸をつけて提出している人が気になります。ただワークに答えを書き込むだけでは学習になりません。自分が解いた問題は本当に合っているのか丁寧に丸付けを行い、間違えた問題はやり直して解けるようにする。できなかったことができるようになって初めて学習です。小学生の時と違い、中学の学習の大変さや難しさを痛感している人もいると思いますが、取り組み方が間違っているため、十分に力を発揮できていない人も多いように感じています。今一度、これまでの自分の学習をふり返り、改善していきましょう。

7月は夏休み前という開放感と蒸し暑さで、1年でもっとも気のゆるみやすい時期です。そのゆるんだ気持ちに流されることなく、自分が何をすべきか冷静に考えて行動するよう心掛けましょう。また、夏休みを有意義に過ごせるよう、学習面でも生活面でも、十分に準備をしていきましょう。

()

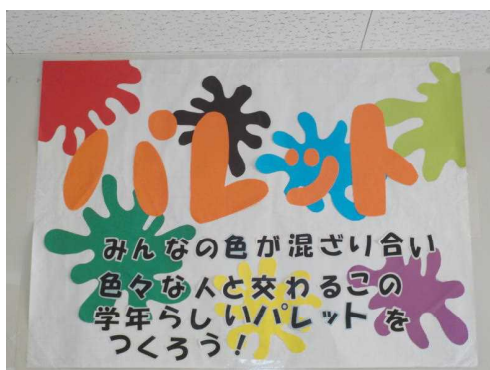
自分達らしさをめざして！

～学年スローガン決定！～



全員投票の結果、すてきな学年スローガンが決まりました。「みんなの色が混ざり合い、色々な人と交わるこの学年らしいパレットを作ろう！」という意味を込めて…「パレット」です。

先日、体育館で学級委員よりお披露目がありました。一人一人が持っている色が重なり合うと、いったいどのような色合いに変化していくのでしょうか。とても楽しみです。



「この学年らしさ」って
どんなことかなあ？

いつも見ることが
できるように学年土間の
2カ所に掲示しました。



思いっきり楽しみ、たくさん学んだ充実の一日

～校外学習 in 南知多ビーチランド～

6月16日、初めての大きな学年行事となる「校外学習」に出かけました。梅雨入り間もない時期にもかかわらず天候にも恵まれ、楽しくも充実した1日となりました。昼食のBBQや午後の班別自由見学では、それぞれの役割を果たしながら互いに協力し合う活動となり、イルカショーとは違った楽しさを味わうことができましたようです。

《活動後のアンケートについて》

「班で協力して行動できたか。」「役割をきちんと果たせたか。」「時間を守れたか。」「ルール・マナーは守れたか。」など、自分たちの行動を振り返ってもらいました。どの項目においても「できた」という高い評価の回答でした。実際の行動の様子からも、生徒たちが仲間と協力し合いながら、しっかりと活動できていたことが感じられました。帰りのバスの中は、「絆深まりハイテンション組」と、「はしゃぎ疲れてグッスリ組」とに別れてしまいましたが、どちらも満足そうな顔は共通のものでした。

◆校外学習を通して「学んだこと」や「得たこと」は何ですか？

- ・協力することの大切さ
- ・団結力
- ・助け合いの気持ち
- ・責任感
- ・友情
- ・仲間と共に何かをやり遂げることの楽しさ
- ・集団行動（班行動）の大切さ
- ・みんなで取り組むと楽しさが倍増すること
- ・水族館の裏側
- ・飼育員さんの陰の苦勞
- ・仕事の大変さ
- ・イルカやウミガメの生態について…など。

学んだことは様々で、初めて気付いたことだけでなく、改めて感じたこともあったのではないのでしょうか。一人一人異なりますが、どれも校外学習が貴重な時間だったと言えるものばかりですね。

《校外学習の思い出作文》

次に生徒の感想文を紹介します。

ワンフォーオール・オールフォーワン

班活動をする機会は2回。BBQ（バーベキュー）と自由行動だ。まずはBBQ。BBQをするときにすべてを一人でどうにかするのはとても無理だ。いや、無理ではないかもしれないが、そんなことはどうでもいい。協力をすると楽ができる。楽しい、安全、こうして様々な利点がある。一人一人に役割があり、それを全うすることで一人がみんなのためになり、一人もいなくなるように気を配ってあげることで、みんなが一人のためになる、そう感じた。

みんなが助けてくれた

今日はとても楽しい1日になりました。でも、ミスをしたところもたくさんありました。お昼ご飯の焼きそばを作っていて焦げてしまっても、班の人は誰ひとり文句を言わずに食べてくれてほっとしました。また、班別学習ではぐれてしまったときも、みんなで探して見つけて戻って来たときにその人を責めることなく「次どこ行く？」などと、みんなを思って言ってくれているひとりが、僕はとてもすごいと思いました。これからも様々な活動を通してもっとクラスの子と学年の子を知り、仲を深めていき、3年生の修学旅行でみんなが最高と言えるようにしていきたいです。

ふだん見えないところが一番スゴイ！

バックヤードツアーで大水槽の裏側に行ったときに、飼育員の方が「大水槽にはたくさんの魚がいるから水が汚れてしまうので、中に潜って掃除をすることもある。」と教えていただきました。その他に、イルカにあげる餌も金属センサーに通して危ない物が入っていないか一つ一つ確かめてから与えているそうです。その話を聞いて、私は一つ一つやるのは大変だなと思いましたが、きっと飼育員の方たちはそれだけイルカや水族館にいる生き物をすごく大切にしているんだなということが伝わってきました。今回の学習を通して、私はふだん見えないところが一番すごいことに気がつきました。もちろん、イルカショーなどもすごかったのですが、そのイルカショーが成り立つまでがすごく大変だったんだろうなと思います。そしてやはり生き物を大切に日々頑張っている飼育員の方々はずごくかっこよかったです。

一日の動き

今日一日の感想は、時間がどうしても足りないということと時間をちゃんと使い回せなかったことです。BBQのときも時間がないから急いで料理をしました。でもみんな協力して料理を作ることことがめっちゃ楽しかったです。最後の班活動で、私はとても活躍できたと思っています。なぜなら時計係として初めて班員たちに必要とされたからです。私はあまり調べたことをメモすることができなかったけれど、みんなの助けになれて嬉しいです。一日はこうやって終わりました。時間が足りないと感じているうちに、充実した一日を過ごすことができました。

普段気づかないこと、この目で映す

南知多ビーチランドに行って、2つのことを学びました。1つめは水族館の裏側を知れたこと。2つめは仲間のちょっとした気遣いに気づけたことです。水族館には幼い頃によく行って、綺麗な魚の模様や水槽の中で元気に跳び上がるイルカたちを見て「綺麗だなあ」と思っていました。そして今日、その綺麗な裏には飼育員さんたちのいろいろな行動によって成り立っており、一匹一匹の食事を考えることやアカウミガメの保護、さらには動物たちの健康管理など様々な努力があつてこそ、私たちが見る「水族館」というものが作られていることに感激しました。加えて、班にみんなの配慮によって充実した一日が送れたと言っても過言ではなかったです。学校生活の中で苦手意識をもっていた人にも「こういう所があるんだ！」「楽しい！！」と新しい一面に出会え、何気ない場面で手伝ってくれたりして嬉しかったです。そして私もあまり知らなかった焼きそばの作り方も、みんなで協力して美味しくそうなものができたので、協力って大事だなあと改めて実感しました。

達成感

僕は南知多ビーチランドでたくさんの思い出を作りました。中でもウミガメを持ち上げたことはとても達成感のあるものでした。僕はその時、正直なところ怖がっていました。なぜなら別の人ウミガメを持ち上げたらとても暴れていたからです。僕は悩みました。持つか持たないか…。よく考えた末、頑張るって持つことにしました。するとびっくり。僕の持ち上げたウミガメはとてもおとなしいのです。甲羅も触ることができました。このとき、僕には「やってよかった！」という大きな達成感がありました。